

IGES 関西研究センター開設記念
「産業と環境」国際フォーラム2001

「環境経営」国際シンポジウム
－ 環境経営の世界的潮流 －

開催趣旨

「産業と環境」国際フォーラム2001

(財)地球環境戦略研究機関(IGES)では、兵庫県の積極的支援や関西の企業、団体の協力を得て、関西研究センターを2001年6月に神戸東部新都心に開設いたしました。IGESの関西における新たな活動拠点となる関西研究センターでは、「産業と環境」をテーマとして、関西の学術研究機関や企業、団体をはじめ、内外の研究機関と連携した調査研究、政策提言や普及活動を行っています。当初3年間は、環境会計、環境情報開示等の環境経営の具体的手法について研究する「企業と環境プロジェクト」を中心に活動を展開しています。

2001年9月、環境省等の後援のもとに、関西研究センターの開設を記念して、『「産業と環境」国際フォーラム2001』として「環境経営国際シンポジウム」および「環境会計国際ワークショップ」を開催いたしました。アジア太平洋地域をはじめ世界各国から専門家にお集まりいただき、持続可能な開発に向けた企業の取り組みと、今後の経営戦略の方向について、最新の情報をもとに議論いただきました。

環境経営国際シンポジウム

ISO14000シリーズの導入、環境報告書、環境会計、グリーン購入等、環境配慮型の企業経営をめざす自主的な取り組みが、欧米や日本をはじめアジア太平洋地域でも広がりつつあります。今回のシンポジウムでは、今後の環境配慮型社会において、「環境経営」とよばれるこのような取り組みが進む社会的背景や、企業の経営戦略の変化について検証するとともに、環境経営の内容、その課題と克服のための手段などについて、世界各地域の状況を踏まえて議論しました。

開会あいさつ



I G E S 理事長
中央環境審議会会長 森島 昭夫



兵庫県知事 井戸 敏三



環境省総合環境政策局環境経済課長 三好 信俊

基調講演



天野 明弘



報 告



マーチン・ベネット



山本 和夫

パネルディスカッション



コーディネーター 國部 克彦



マーチン・ベネット



加藤 三郎



李 炳旭
(イ・ビョンウク)



瀬尾 隆史



山本 和夫



目次

プログラム

プロフィール

開会あいさつ

- 森島 昭夫 1
(（財）地球環境戦略研究機関（IGES）理事長・中央環境審議会会長)
- 井戸 敏三 3
(兵庫県知事)
- 三好 信俊 5
(環境省総合環境政策局 環境経済課長)

基調講演 7

「環境配慮型社会の構築と環境経営」

- 天野 明弘
(IGES 関西研究センター所長、IGES 理事、関西学院大学総合政策学部教授)

報告：「世界の環境経営の諸相」 15

報告 1 「環境経営：欧州からの視点」 15

- マーチン・ベネット
(英国グロスターシャ・ビジネススクール主席講師、EMAN-EU 代表)

報告 2 「企業と環境経営の動向」 31

- 山本 和夫
(日本アイ・ビー・エム株式会社顧問)

パネルディスカッション「環境経営の世界的潮流」 45

- コーディネーター 國部 克彦
(IGES 関西研究センター「企業と環境」プロジェクト・リーダー、
神戸大学大学院経営学研究科教授、アジア太平洋環境管理会計
ネットワーク (EMAN-AP) 運営委員)

1. 発表 49

1.1. 発表 1 「韓国の環境経営：政府の政策と業界の取り組み」 49

- 李 炳旭 (イ・ビョンウク)
(韓国 POSCO 研究所 環境経営研究センター長、EMAN-AP 運営委員)

1.2. 発表2「エコファンドと『環境経営』評価」	55
瀬尾 隆史 (安田火災海上保険株式会社 地球環境部長)	
1.3. 発表3「環境経営」について	65
加藤 三郎 (環境文明研究所所長)	
2 ディスカッション	70
2.1. 環境経営の促進要因と阻害要因	70
2.1.1. 環境経営の促進・阻害要因 (山本)	70
2.1.2. 「環境経営」の特徴 (ベネット)	72
2.1.3. 「環境経営」促進のための必要事項 (李)	75
2.1.4. 求められる社員の環境意識向上 (瀬尾)	77
2.1.5. 環境対策はコスト要因ではない (加藤)	78
2.2. 今後の環境経営にむけて	82

プログラム

GES 関西研究センター開設記念
「産業と環境」国際フォーラム 2001

「環境経営」国際シンポジウム
— 環境経営の世界的潮流 —

日時 2001年9月26日(水)
場所 新神戸オリエンタルホテル

プログラム

▼13:00~13:20

開会あいさつ

森島 昭夫 (財)地球環境戦略研究機関(IGES)理事長、中央環境審議会会長
井戸 敏三 兵庫県知事
三好 信俊 環境省総合環境政策局 環境経済課長

▼13:20~13:50

基調講演

「環境配慮型社会の構築と環境経営」 天野 明弘 IGES関西研究センター所長、IGES理事
関西学院大学総合政策学部教授

▼13:50~14:50

報告:「世界の環境経営の諸相」

報告1「環境経営:欧州からの視点」 マーチン・ベネット 英国グロスターシャ・ビジネススクール
主席講師、EMAN-EU代表

報告2「企業と環境経営の動向」 山本 和夫 日本アイ・ビー・エム株式会社顧問

▼14:50~15:10

休憩

▼15:10~17:00

ディスカッション:「環境経営の世界的潮流」

コーディネーター: 國部 克彦 IGES関西研究センタープロジェクトリーダー、神戸大学大学院経営学研究科教授
EMAN-AP運営委員

パネリスト (アルファベット順)

- ① マーチン・ベネット 英国グロスターシャ・ビジネススクール主席講師、EMAN-EU代表(報告者)
- ② 加藤 三郎 環境文明研究所所長
- ③ 李 炳旭 韓国POSCO研究所 環境経営研究センター長、EMAN-AP運営委員
- ④ 瀬尾 隆史 安田火災海上保険株式会社 地球環境部長
- ⑤ 山本 和夫 日本アイ・ビー・エム株式会社顧問(報告者)

プロフィール

基調講演「環境配慮型社会の構築と環境経営」



■天野 明弘

IGES 関西研究センター所長、IGES 理事、関西学院大学総合政策学部教授。

1958年、神戸大学大学院修了。米国ロチェスター大学（1963年）及び大阪大学（1966年）にて経済学博士号取得。専門は環境経済学。大阪大学助教授、神戸大学教授を経て現職。経済企画庁、環境庁、兵庫県等の各種審議会委員を歴任。また海外研究歴も豊富。2000年、紫綬褒章受章。主な著書に「地球温暖化の経済学」、「環境との共生をめざす総合政策・入門」、「日本の国際収支と為替レート」（日経経済図書文化賞）等。

報告：「世界の環境経営の諸相」

報告 1 「環境経営：欧州からの視点」



■マーチン・ベネット

英国グロスターシャ・ビジネススクール主席講師、ヨーロッパ環境管理会計ネットワーク（EMAN-EU）代表。

大手会計会社ピートマーウィック（KPMG）、BDO ビンダー・ハムリンに会計専門家として勤務。また、グレート・ユニヴァーサル・ストアーズ社では貿易業務に従事。ノッチンガム・トレント大学、アッシュリッジ経営大学院を修了後、現職。専門分野は、環境会計学と産業の環境パフォーマンス測定。主著に「持続可能な対策－環

境パフォーマンスと社会的有用性の評価と報告」、「環境管理会計－環境マネジメント・プロジェクトのツールとしてのEUの環境マネジメントに関する報告書」、「環境管理会計－会計士のための指針」、「注目の環境－ビジネスにおける環境パフォーマンス計測の実態と将来の動向」等多数。学術誌やビジネス誌にも様々な記事を寄稿している。また、カーネギーメロン大学、ゲント大学、ブダペスト大学、ブルーネル大学で環境会計のセミナーや講座を企画し講義を行っているほか、国連環境計画機関（UNEP）、国連工業開発機関（UNIDO）や国連の持続可能な開発部門で環境会計プロジェクトに従事している。

報告 2 「企業と環境経営の動向」



■山本 和夫

日本アイ・ビー・エム株式会社顧問。

1963年関東学院大学工学部電気工学科卒業。1969年日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。野洲工場においてプリント基板生産技術、半導体生産等を担当後、1985年に野洲工場長に就任。取締役/開発・製造管理統括（1988年）、アジア太平洋地域の製造管理統括責任者（1989年）、常務取締役/製造統括本部長（1994年）を歴任後、1998年、専務取締役/ストレージプロダクト生産担当に就任。その

後日本アイ・ビー・エム環境委員会委員長を経て2001年4月より現職。IBM本社の環境経営諮問委員会委員を兼務。著書に「IBMの環境経営」（共著、東洋経済新報社、2001年）がある。

ディスカッション「環境経営の世界的潮流」

コーディネーター



■ 國部 克彦

IGES 関西研究センター「企業と環境」プロジェクト・リーダー、神戸大学大学院経営学研究科教授、アジア太平洋環境管理会計ネットワーク (EMAN-AP) 運営委員。

社会環境会計専攻。博士 (経営学)。大阪市立大学助教授、ロンドン大学 (LSE) 客員研究員、神戸大学大学院助教授等を経て現職。環境省「環境会計システムの確立に関する検討会」委員、環境省「環境会計に関する企業実務者研究会」アドバイザー、同「環境報告書作成ガイドライン改定検討会」委員、経済産業省委託 (社) 産業環境管理協会「環境会計委員会」委員長、郵政省郵政研究所客員研究官などを歴任。グラスゴー大学社会環境会計研究センター国際客員研究員、環境経済・政策学会理事、日本社会関連会計学会理事などを務める。主著：「環境会計」(新世社、2000年)、「社会と環境の会計学」(中央経済社、1999年)、「環境情報ディスクロージャーと企業戦略」(東洋経済新報社、1998年)、「ソーシャル・インベストメントとは何か」(日本経済評論社、1998年)。

パネリスト (アルファベット順)



■ 加藤 三郎

環境文明研究所所長。

1966年東京大学工学系大学院修士課程修了後、同年厚生省に入省。1971年環境庁大気保全局に出向し、翌年国連人間環境会議に出席。1973年より3年間日本初のOECD環境担当書記官としてパリに駐在。1990年環境庁企画調整局地球環境部長として地球温暖化防止行動計画の策定、「地球サミット」、アジア太平洋環境会議の企画、環境基本法作成に参画。1993年同庁を退官し「環境文明研究所」を設立し所長となる。「NPO法人 環境文明21」も主宰する。住友生命総合研究所 客員主任研究員、東京農業大学客員教授等を兼務。主な著書に「環境の世紀」、「かしこいリサイクルQ&A」、「環境と文明の明日」等多数。



■ 李 炳旭 (イ・ビョンウク)

韓国POSCO研究所 環境経営研究センター長、アジア太平洋環境管理会計ネットワーク (EMAN-AP) 運営委員。

英国マンチェスター工科大学 (UMIST) 経営学科にて環境経営学博士号を取得。ICI韓国(株)の企画課長として勤務後現職。ソウル国立大学大学院環境研究科客員教授、持続可能な開発のための大統領委員会 (PCSD) の委員、韓国環境政策管理学会会長、韓国ライフサイクル評価学会会長、韓国環境省およびその他の他の公共機関の顧問等も兼務。主な著書に「環境経営」(韓国の教科書)、「韓国の鉄鋼業者の廃棄コスト」、等。



■ 瀬尾 隆史

安田火災海上保険株式会社 地球環境部長。

東北大学経済学部卒業。1973年安田火災海上保険株式会社入社。1988年、秘書室に異動。後藤社長(当時)の秘書として「環境問題」に従事。1992年企画開発部課長、1997年地球環境室課長、1998年同室次長、1999年7月、現職に就任。1999年4月より安田火災環境財団専務理事を兼務。

開会あいさつ

